

商品加工、加工後点検

現在、新しい農産セットセンターでは全体数量の約47%の商品加工(袋詰め、カットなど)も行っています。セットセンターで加工することによって、商品に与えるストレスを軽減(トラック輸送の回数や距離が削減)できたり、産地出荷から集品・お届けの時間短縮にもつながります。そのため、今後は加工する数量を全体数量の半分以上にまで拡大できるようにすすめています。

実際の加工場では袋詰め作業が大半を占めますが、目視点検しながら作業をすることで、傷んでいるもの、萎れているものなどを排除しながら袋に詰めていきます。中にはバナナのように産地で袋詰めまでされた状態で入荷する商品もありますが、バナナではそこから更に1袋ずつ検品をしてから集品されることになっています。



● そうして加工された商品や産地で加工済みの商品は、職員が集品直前に再度の点検を行っています。ここでは組合員の皆さんにお届けする形態となった商品の最終点検をすることとなりますので、品質はもちろん、商品名に誤りがないか?栽培自慢商品に規定のマークが付いているか?産地名は適正か?などをチェックし、皆さんへお届けしています。



2017年
4月1週
(14号)

東海コープからの

おいしくって、
安全なおはなし

